

オオヒキガエル （特定外来生物）

北米南部から、南米北半分までに分布する体長 8～15cm の大型のカエル。戦前に南大東島へ、石垣島へは 1978 年に南大東島から持ち込まれ、石垣島では市街地から山の中までどこにでもいる。



オオヒキガエル

シロアゴガエル （特定外来生物）

東南アジア原産の体長 5～7cm の中型のカエル。1964 年に沖縄島の嘉手納町で初めて発見された。沖縄諸島や宮古諸島の多くの島々で既に定着し、蔓延してしまっている。2007 年 7 月末、八重山諸島で初めて石垣島にも侵入していることが判明した。



シロアゴガエル

グリーンイグアナ （要注意外来生物）

中南米原産の全長 2 m、体重 4～5 kg にもなる大型のトカゲ。1994 年頃から石垣島北東の半島部、明石を中心に目撃されている。



グリーンイグアナ

グリーンアノール （特定外来生物）

米国南東部やカリブ海の西インド諸島原産の全長 12～20cm ほどの小型のトカゲ。1989 年頃に八重瀬町東風平で初めて見つかったがその後情報はなく、1994 年に那覇市首里でアノールの集団が発見された。2008 年 9 月に那覇空港の近くで高密度の集団が確認された。



グリーンアノール

タイワンスジオ （特定外来生物）

2 m 以上にもなる大型のヘビ。八重山に生息するサキシマスジオの台湾産の別亜種。1970 年代末に沖縄島中部に定着した。



タイワンスジオ

タイワンハブ （特定外来生物）

インド北東部から中国南部、インドシナ半島が原産のハブの仲間。1993 年ごろに名護市で定着。現在では名護市に接する今帰仁村、本部町と、中部の恩納村と 4 市町村に分布。



タイワンハブ

サキシマハブ

八重山諸島に生息する日本の固有種。1976 年、沖縄島南部の糸満市に定着した。



サキシマハブ